

「ありの行列のひみつパンフレット」を作る

1 はじめに

児童の日常生活、毎時間の授業の中で交流は常に行われている。では、国語科で求められる「交流」とは何か、また、「交流」を通して児童にどんな力をつけるのか、そのためにはどのような手立てが必要か、これらを意図して実践を試みた。

本単元では、「イルカのねむり方」での学習を基に、「ありの行列」の内容をパンフレットにまとめるという学習活動を設定している。それを通して、文章の組み立てを考えたり、段落ごとのキーワードやキーワードを抜き取ったりした後に、読み取ったことをクラスで出し合う。

中学年における身につけさせたい力(指導事項)に基づき、自分の読みをより確かなものにするための「交流」、そして、文章に対する互いの感じ方の違いに気づくために単元の出口(第三次)に位置づけた「交

流」。児童は、それぞれの違いを知り、ねらいを明確にして学習に取り組んだ。

2 指導計画(全十一時間)

第一次 (三時間)
既習の説明的文章について、構成や学習内容を想起する。「イルカのねむり方」の説明のしかたや構成(何が「どのように」書かれているか)をつかみ、それを基に「ありの行列のひみつパンフレットを作り、クラスのみんなで読み合おう」という目的をもち、学習の計画を立てる。

第二次 (六時間)
パンフレットの形式を決める。「問い」と「答え」の段落を見つけて文章の大まかな構成をつかみ、ワークシートを用いて段落に書かれている事柄を要約し、それをパンフレットにまとめる。要約したり要点を読み取ったりする際に、グループで意見交流をして読みを確かめるものとしていく。

第三次 (二時間)
ワークシートをパンフレット形式にまとめ直し、表紙・裏表紙をつけて完成させる。それをクラスの友達と読み合せて感想交流をし、単元を振り返って、身についた力を確認する。

3 指導の実際

第一次 第五～九時
段落の要点、内容を要約した文章が適切かどうかグループで意見交流し、読みを確かめるものにする段階である。

パンフレットの形式については、第一次でモデルを提示しておく。ワークシートを使って要点を読み取り、内容を要約する。その際、①繰り返し出てくる言葉を確認する、②段落内で最も大切だと思う文章に線を引くなどの、中心となる語や文を読み取るポイントを示し、個人で読み取れるようにした。それぞれが自分の考えをもったう

基に「何が」どのように書かれていたかの視点で感想を書くよう指導した。

4 おわりに

交流において必要なのは、①何について交流するのか、②交流して何を求めるのか、についての見通しを、教師が事前に明確にもっておくことだ。「グループで話し合っごらん」「思ったことをなんでも言っごらん」では不十分である。

第二次の読み取りの際にグループでの交流を取り入れたことで、自分の読み取りに自信をもったり、また、手直しをしたりする児童の姿が見られた。交流が「読み」の力の高まりにつながったことがうかがえる。単元の最後に、パンフレットを使って文章についての自分の考えを交流したことで、児童は、同じ言葉や文に着目していても違う感想をもつ友達がいることを発見したようだった。また、友達が自分と全く同じ言葉や文に着目して、似たような感想をもっていることに気づく児童もいた。交流を通して、さまざまな発見に驚き、そして、喜んでいたように思われる。

この「交流」で得た力は、他の単元・他教科・他領域にもつなげ、活用できるようにしていきたい。

えて、四人グループで意見交流をし、大切な文章から要点を見つけて要約できているかを確認した。グループで意見交流する前の段階で、個々に自分の考えがもてていることが重要である。そのためには、「個」の読み取りの時間を保障することや読みのポイントを提示することが必要となる。

その後、要点や要約した文章を基に、ワークシートの内容を生かしながらパンフレットを書きまとめる。文章の中の段落のつながりを考え、第四段落までを一枚のページに、第五段落以降は次のページにというように、文章を区切ってまとめることとした。また、接続語を書き出すなど、段落相互の関係を意識できるようにした。

グループでの話し合いを成功させよう

○まず、グループみんなが発言しよう。そのためには、少しテーマからはずれていても、最後までしっかり聞いてあげよう。

○意見を言うことがとくいな人は、少しゆずってあげよう。友達の意見が分かりづらいときに、「つまり、こういうこと？」と、バックアップしてあげよう。きつと、言ってもらった友達は自信がたかくなる。

○自分と全然ちがう意見を聞いたとき、さいしよからひいていしないで、「そういう考えもあるのかな」と考えてみよう。

○「でも」「」「って考えてもちがうよ。」と思ったときは、しっかり自分の考えを伝えて、相手にもう一度考えてもらおう。

▶「グループ学習の手引き」の一例



▶児童が作成したパンフレット